



野の花と風薫る郷から...

'95

平成7年2月5日発行

広報

たかもり

2
No. 426



鬼の目はじき 竹を12に割り、一年を通じて鬼(災い)から身を守るといふもの。町東部と蘇陽に伝えられているといわれる。

草部北部小学校区 鬼火たき

年明けの1月9日草部北部小学校区の鬼火焚きがありました。これを企画、実行したのは同地区の50歳と60歳代の「56会」や同校と草部北部保育園の保護者会、老人会などの方々が今年で12年目。朝早くから、孟宗竹100本を立てかけたり、婦人の方々が芋や豆腐などの串を作ったりと大忙しで準備されたものです。午前11時から火入れがあり、「パンパン」と竹が割れる音に子ども達はびっくりしながら、つるのこ芋や餅を頬張っていました。各地区でも災いを払い、福を寄せるというこの行事が伝承されています。



高さ約8m、100本の孟宗竹に火が入る。

人口の動き

(1月1日現在)
世帯数 2,554 (+7)
男 3,950 (+14)
女 4,251 (+1)
総数 8,201 (+15)

高森町民憲章

- 一 水と緑と土のにおいっぱいの住みよい町にします。
- 二 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
- 三 老人を大切に、子供の夢を育て幸せな町にします。
- 四 勤労を尊び、産業を振興し活力ある町にします。
- 五 スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。

おめでたおくやみ

(1994.12月受付分)

赤ちゃんたんじょう

楢木野健太ちゃん(西中原)11・22生 竹雄さんの長男
佐藤結実ちゃん(旭通)12・2生 美保子 利さんの長女
本田優花里ちゃん(赤羽根)12・3生 武昭さんの二女
相馬拓実ちゃん(森)12・7生 千加子 敬貴さんの長男
相馬陽道ちゃん(冬野)12・15生 俊良 樹さんの長男
岡部花香ちゃん(今村)12・7生 昭也 恵子さんの長女

すえながくお幸せに

(敬称略)

(片山 伸也 白水 村 12・12
悦子 高森 昭 和
(住吉 研次 色見 井 12・22
幸子 阿蘇 蘇 町)

おくやみもうしあげます

(敬称略)

(住所)	(御遺族)	(死亡者)	(年齢)
高森	桐原文夫	桐原照雄	28
上色見	佐伯誠登	佐伯マシエ	89
高森	木崎スイ子	木崎國廣	76
上色見	荒牧タネ子	荒牧ワリ	88
色見	岩下 實	岩下ヲチカ	85
高森	前田 達	前田綾子	62
高森	中川 鐵雄	中川 市郎	84

善意の灯

ありがとうございました(敬称略)

■社会福祉協議会へ
(香典返し)木崎スイ子、佐伯誠登、岩下實、桐原文夫、前田達、荒牧タネ子、中川鐵雄
(一般寄付)(株)九電工南阿蘇営業所、高森町職員組合
■広報送料寄付 熊川 康(荒尾市)、林 恭宏(城南町)

この広報では、町内、町外を問わず、皆さんからのいろいろな情報やご意見、お便りを順次、掲載させていただいております。どうぞ情報をお寄せください。

高森町奨学生募集

■貸付金額

高等学校生徒(全日制) 月額 8,000円(3カ年間)
大学の学生(国公立に限る) 月額 25,000円(4カ年間)

■貸付対象者(町奨学資金貸付条例抜粋)

奨学生の保護者が高森町民であること
高校・国公立大学に在学中の者で町長が認める者
その他詳しい事はおたずねください。

■申込期限 3月20日(月)まで

■願 書 教育委員会で受け取ってください。

高森町教育委員会 2-1111内線167番



消防職員募集

阿蘇広域行政事務組合では、次のとおり職員(消防吏員)を募集します。(高校卒業程度)
■受験資格 昭和47年4月2日から昭和52年4月1日まで生まれた男性
■募集人員 若干名
■試験地 消防本部(阿蘇町)
■受付期間 2月13日(月)から2月24日(金)まで
■試験日
第一次 3月5日(日)
第二次 3月15日(水)(予定)
■受験案内と願書など詳しいことは、阿蘇町蔵原八五ー一阿蘇広域行政事務組合まで。
(0967)34-1123

編集後記

▼一月十七日阪神地区で大地震が発生して、各地に大きな被害が出ました。お亡くなりになられた方や、被災された方々には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。
この日の昼の報道で死者の数の多さを知り、何とも痛ましい歴史的な悲劇だと実感し、また、地震は東海、北陸で起こるものという思い込みも完全に打ち砕かれ、自然の動きは人には予想できないものだと痛烈に感じました。
被害の実態も未だに分からない今回の大災害。自然の恐ろしさをあらためて知るとともに、災害の事前対策や情報収集と復旧方法などを、みんなで真剣に考え直さなければならぬものだと思います。
ご遺族の悲しみと被災された方の精神的、経済的な苦しみが私たちに計り知れないものがあるでしょうし、ボランティア、行政、警察、消防、自衛隊の方々など復旧にあたる人も含めて、みなさんの身体や心労が心配されます。復旧のために、私たちはできる限りの手を差し伸べてあげたいものです。活火山「大阿蘇」のすぐそばに住む私たち。人事ではないのですから。

兵庫県南部 大地震発生！

神戸を中心に大きな被害

義援金・救援物資を受け付けます

1月17日早朝 兵庫県南部でマグニチュード7.2の大地震が発生し、神戸を中心に死者5,103人 行方不明9名 負傷者26,803人 建物の損壊106,763棟(2月1日現在)という大きな被害が出ました。

町では一日も早い復旧を願って、皆様方から義援金と救済物資をお預かりすることにしまし



た。被災地付近は電話も通じにくく、道路も寸断され壊滅的な状況で、個人で救援物資を送る

町で一括して送りますので、役場までお届けください。
(高森温泉館、奥阿蘇物産館、役場画出張所にも義援金箱を置いています。)

『災害は忘れた頃にやってくる』

地震災害は、活火山、「阿蘇」のすぐそばに住む私たちにも、いつ起こるかわからない身近な問題です。また外輪山をはさむようにして活断層が何本も東西に走っています。何十年、何百年もの周期で起こると言われるこの断層の歪の反発が、震度7以上の激震を起こし直下型地震となります。

いつ起こるかもしれない地震などの大災害。「備えあれば、憂いなし」とも言われ、私たちは今すぐに、家族や職場でこのような災害が発生した時の具体的な対策を話し合っておきたいものです。

災害対策の一例

まず心を落ちつかせ、あわてない。身を守る対策。火を消す対策。出口の確保。ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。避難場所の確認。離散した場合の集合場所や連絡方法の確認。復旧活動や救護物資が届くまでの間に最小限必要な物の準備と、持ち出しの分担。

懐中電灯、マッチ、ろうソク、携帯ラジオ（無線機）、電池、医薬品、食料品、（水（定期的に交換して保存）、米、塩、乾パン、クラッカーなど）食器類（鍋釜・栓ぬき・缶切り・ナイフなど最低必要なもの）、毛布、ヘルメットや防災ずきん、衣料品（防寒着、下着、雨具、長靴など）、貴重品（現金、預金通帳、印鑑など）、保険証、その他、何が必要か家族で話し合ってみましょう。

診療は午前
9時から午
後5時まで

2月11日

寺崎 医院

☎ 20378

2月12日

南郷整形外科

☎ 23351

2月19日

渡辺内科医院

☎ 71777

2月26日

後藤 医院

☎ 70019

3月5日

立野 病院

☎ 80111

3月12日

みなみ阿蘇

クリニック

☎ 72030

※都合により変更になる場合がありますので、テレホンサービスでお確かめください。

(2-222)

入札結果 500万円以上

工 事 名	工 期	金額(円)	請負業者名
社倉・蔵地線道路改良工事	1/6～3/20	27,192,000	㈱藤本組
大切畑・下切線道路改良工事	1/6～3/20	13,554,800	㈱佐藤建設
高森駅前広場野外ステージ新築工事	12/20～3/25	16,068,000	下田工務店
高森峠自然公園公衆便所整備事業	12/20～3/25	17,922,000	㈱津留住建
高森峠環境林整備事業植栽工事	12/26～3/20	21,248,900	㈱熊本緑研
高森峠環境林整備事業路網整備工事	12/26～3/20	9,218,500	㈱錦建設
高森自然公園周辺整備工事	12/22～3/27	22,660,000	㈱古澤建設
高森峠環境林整備事業森林整備工事	12/26～3/20	6,798,000	高森町森林組合



一月三日の午前十時から、林業総合センターで、本年度の高森町成人式がありました。今年、町で成人を迎える人は百三名。熊本市や遠方では就職している人や、学生など、正月の帰省者も含めて、たくさんの方が出席。「おとなになる期待と不安を抱きながら、真剣な表情で式にのぞんでいました。

式には、草村県議会議員、本田町議会議長をはじめ、たくさんの方の来賓と、今村町長など、町関係者が出席し、「成人としての自覚を持ち、社会に貢献してください。」と激励し、祝辞を述べていました。

式後には全員で乾杯。中学や高校卒業後に久しぶりに会った友だちとの旧交を温める光景も見られ、また、本町の各地区代表者の意見発表があり、最後は全員で記念写真撮影が行われました。

町の後継者として、また色々なところで、大いに羽ばたいていただきたいと思います。



県のお知らせ

県政モニター募集

県では、県政に対するご意見や、要望を幅広く伺って、県の色々な事業や施策に活かすために、平成七年度の県政モニターを募集しています。

応募資格は満二十歳以上で、県内在住で県政に関心があり、積極的なご意見をお持ちの方です。（常勤の公務員、行政委員会委員、議会議員を除く。また、三期連続でモニターになることはできません。）

■期日 三月十一日（土）午後一時から
■場所 八代市厚生会館
■講師 岡本祐三氏
（阪南中央病院内科医長）
会場内では、介護体験コーナー、高齢者おしゃれコーナー、相談コーナーも開設されます。
県庁高齢福祉課
☎096・383・1111
内線3745番

自治大臣へファックス送ってください

国政、地方行政、行財政改革などに関する自由かつ建設的な意見をお送り下さい。
03・3581・6987

相談

年金

国民年金、厚生年金、社会保険についての相談を受けます。お気軽にお問い合わせください。
■とき 二月二十二日（水）午前十時から午後三時まで。
■ところ 林業総合センター二階の会議室

ねたきり老人ゼロ 作戦講演会

ねたきり老人にならない、させないための講演会が開催されます。

農業者年金

農業者年金に関する様々な

町の移動図書

草部出張所	10時～10時半
J A草北	11時～11時半
野尻出張所	13時～13時半
J A河原	14時～14時半
三月八日（水）	
J A色見	10時～10時半
J A上色見	10時半～11時
横町A団地	13時～13時半
下町公民館	13時半～14時
須坂団地	14時～14時半

訪問販売・通信販売110番

弁護士による法律相談

県消費生活センターでは、弁護士を迎えて「消費者110番」の電話相談を行います。次のようなことで困ったことがあったら、遠慮なく電話でご相談ください。面談による相談のご希望は予約してください。いずれも、相談料はもちろん無料です。

これまでの相談の一例

- 黒電話が使えなくなると言われて、電話機を買った。
- 無料で日用品を配っている会場に行き、健康ふとんを契約した。
- 旅行に安く行ける話を聞きに行ったら、ビデオの契約をさせられた。
- 行政書士の講座資料を送ってくれと言ったら契約したことになるってしまった。
- 紳士録の購入や掲載を頼んだつもりがないのに、契約したことになるってしまった。

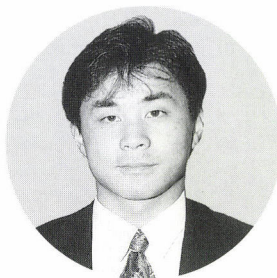
■法律相談の日時 2月20日（月）から24日（金）の午後一時から四時まで
☎096・354・4835

アドバイス

①ダイレクトメールなどで送られてきた申込書（契約書）などは良く読み、不審な点がある場合は相談してください。
②特に高齢者の方は、無用なトラブルを避けたいという心理が少なくありません。また、品物を購入する際は、本当に自分に必要なのかよく考えてみましょう。
困ったことがあったらご相談ください。
熊本県消費生活センター ☎096・354・4835

私の決意

成人代表者意見発表から



高森町 尾下

瀬井 浩二

オートボックス（熊本市）勤務

自覚と責任感を持って

成人となったことに、両親や家族、そして社会の皆さんに感謝したいと思います。

私はすでに熊本市の自動車用品の会社で、社会人として働いています。

色々なお客様と接する中で、苦しい事や難しいこともあります。お客様と店員の関係から、友だちの関係になることもしばしばです。

常に真心を持ってお客様の立場になり、お客様との出会いを大切にしていきたいと思っています。

成人式を迎え、社会人の仲間入りをした今、自分自身に自覚と責任感を持ち、誰からも信頼される人間になれるように努力したいと思います。



高森町 芹口

草村 さき

尚綱短期大学 2年生

夢と希望を忘れずに

成人となり、これからは何事にも責任を持たなければなりません。色々な難しいことに直面したときには、すぐに人に頼るのではなく、まずは自分で考える力を身につけていかなければなりません。

そして、人の気持ちがわかる真の大人になって少しでも社会に役立つ自分になりたいと思います。

常に夢と希望を持ち、向上心を忘れずに、失敗を恐れず、前向きに考えて何事にも挑戦し、また、焦らずに毎日を大切に、一步一步確実に歩いていくことも忘れてはなりません。

まだまだ若く、未熟な私たちですが皆様のご指導、ご助言を宜しくお願いいたします。



高森町 高森

野尻 美香

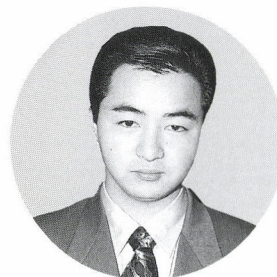
九州福祉医療専門学校 2年生

「はたち」になって思う事

今、私は歯科衛生士の勉強をしています。

まだまだ自分自身に甘えてしまい、思うがままに学生生活を楽しんでいるといった感じで、成人という実感は湧いてきませんでした。臨床実習をしたときなど、社会人として、歯科衛生士として働き始めることについて、何かと考えさせられました。常に患者さんの立場になって、思いやりの気持ちを持ち、精神的な緊張や、心を和らげてあげるための心配りが、大切なことだと強く思いました。

二月には国家試験もひかえています。そして何年か後には、一回りも二回りも成長した自分になれるように頑張りたいと思っています。



高森町 上色見

本田 寅雄

農業

ふるさと高森の後継者として

20歳は私の目標でした。しかし大人になれば、親や社会の保護から解放される代わりに、社会から一人前と見られ、責任も生じてきます。

私は高校卒業と同時に家で農家をやっています。今の農業には大変厳しいものがありますが、色々な難しさを乗り越え頑張っています。

今までは子どもとしての甘えがあったと思いますが、これからは大人としての自覚を持ち、責任ある行動をしなければなりません。

私はこれからも、この町で育ちこの町をつくった、たくさんの方々の、人間としての良き後継者として、全ての面で頑張りたいと思っています。

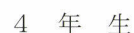
河原小学校



きらやま こうじ
吉良山弘二 くん



講評 中野先生から
花火を打ち上げるようすを、よく観察してかけています。大きな花火が上がるのを、さきさきのひょうじょうで見ているのは本人大です。子どもじしに楽しんで絵にしました。昨年の風情、熊田チ子バスケ大会で入選しました。昨年、食べ物ではメロン。体育ではサッカークラブが好きなさくとして、思いやりのある弘二くんです。



くらの ゆきお
倉野 幸男 くん



講評 廣石先生から
よめる森の匂ひがよいという本の読書感想文です。
ぬるしの森の不気味さがよく出ています。何回も重ねて読んだら、味の味のある絵になりました。熊田読書感想文コンクールでも入選しました。
食物はカールイス・バスケツトボールや図画工
作も大好きでやさしい、しっかり者の辛男くんです。

俳句

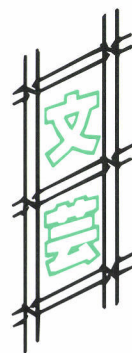
(野尻あけび句会)

野尻 誓道
草村 鶴代
阿南はじめ
甲斐 康利
熊谷 つ子
甲斐しづ子
野尻 美穂
長友 たつ子
野尻 里女

肥後狂句

(阿蘇御神火会)

熊川 豊泉
田上 黙公子
林 不忘
堀田 蘇仙
馬原 馬笑
岡本 琴司
林田 一声
渡辺 雲海
浦塚 南天



モンタナ州カリスペル市長来町

WE WELCOME TO TAKAMORI ようこそ高森へ

International Relationships

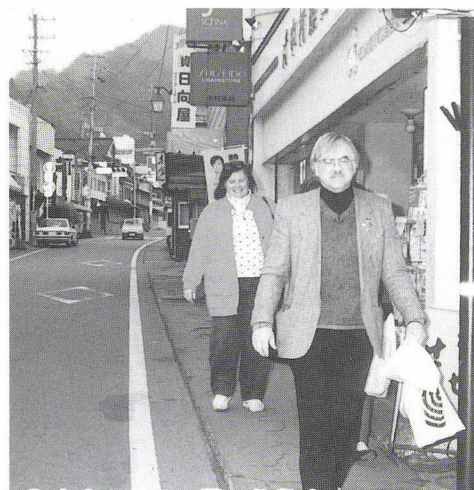
国際交流

先月号でお知らせしたとおり、アメリカモンタナ州カリスベルから、ダグラス・ラッシー市長ご夫妻、そして経済開発団体代表のキャロルデリーさんが来町されました。約24時間かけて一月十五日に福岡空港に到着。時差の疲れを癒す時間も惜しみ、色々な交流や研修に参加したり、町内を自分の足で歩き回る積極的な行動が目をはき、誰とでも気軽に接し、常に相手のことを考える優しい心を持つ人たちであると強く感じました。

市長一行の「とにかく日本という国の人間性や文化、産業、経済、自然や生活環境など、あらゆるものをじっくり見てやろう」という精神がじっくり伝わってきて、来町直後のインタビューでの「見る、聞く、嗅ぐ、触れる、味わうなど私の感覚の全てが目覚めさせられました」という言葉が大変印象的でした。

また、講演やパネルディスカッション（概略六ページに掲載）では、高森には素晴らしい自然環境や文化がたくさんあることを強調され、私たちが日頃見慣れて当たり前と思っている景色や人との心のふれあい。そして『感動する心を目覚めさせ、足元を見直す精神を持つ事が、町の活性化や発展に結びつく』ということを、思い出させていただきました。

そして、市長一行の精力的な行動からは、感性を研ぎすまし、感動を呼び起こす「精神の重要性を教えられたような気がします」。



町中をぶらり 買い物散歩

1/19午後、町中を視察をかねて自由に歩き回り、買い物体験。店に入るときは「コンニチハ」と日本語でていねいに挨拶。通訳無しで入った店では、身振り手振りでの積極さでちゃんと通じていました。



高森の味ベリーグッド！
1 / 16午後3時 阿蘇山見
学の後、田楽で遅めの昼食。
ヤマメ、豆腐など何でもおい
しいを連発。箸使いも練習し
てとっても上手でした。食事
はその他寿司や猪鍋も体験。

高森の味ベリーグッド!

1/16午後3時 阿蘇山見学の後、田楽で遅めの昼食。ヤマメ、豆腐など何でもおいしさを連発。箸使いも練習してとっても上手でした。食事はこの他寿司や猪鍋も体験。



茶道体験（利休伝古流）

1/16午後5時から上町の藤野さん宅で茶道を体験。「にじり口」から入り茶室に正座。茶道の心得なども勉強してきて、道具を熱心にながめたり、色々な質問もして日本の心を学びました。「おいしい」と薄茶を何杯もおかわり。やっぱり正座が一番つらそうでした。

1月15日から22日まで

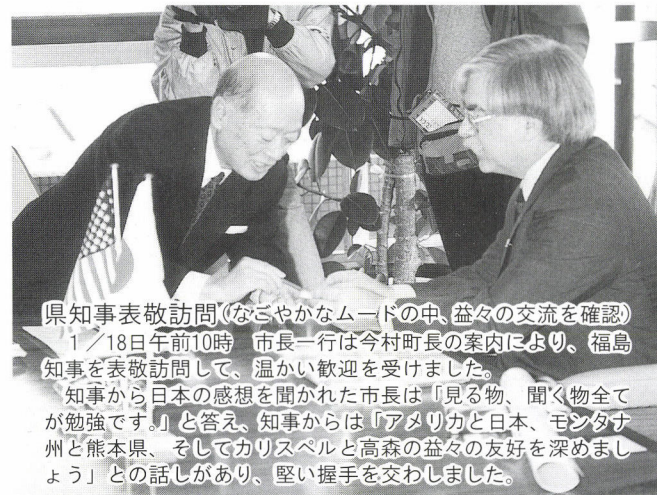
積極的に様々な交流を実践



林業間伐作業や搬出作業を研修（森林組合労働班作業現場）

市長たちの関心の一つに「自然保護と産業発展のバランス調整」がある。モンタナでは、自然環境に魅力を感じて移住して来る人々と、山林伐採を生活の糧とする人々など地元民との間に摩擦があり、それらの調整に苦慮していることから、日本林業の経営形態などに高い関心があった。

日本では木材価格の低迷で林業への興味が失われ、労働力不足と相まって木々に手がかけられず、山が荒れている状況にある。このため、経営助成と自然保護の両面から、伐採と造林、保育に行政の力が加えられている。また畜産（前原・荒牧弘幸氏）と農業イチゴハウス（森・林淳一氏）も見学。



県知事表敬訪問（なごやかなムードの中、益々の交流を確認）
1/18日午前10時 市長一行は今村町長の案内により、福島知事を表敬訪問して、温かい歓迎を受けました。

知事から日本の感想を聞かれた市長は「見る物、聞く物全てが勉強です。」と答え、知事からは「アメリカと日本、モンタナ州と熊本県、そしてカリフォルニアと高森の益々の友好を深めましょう」との話があり、堅い握手を交わしました。



歓迎会・交流会（気軽に話しかける人々）

1/17夜に町主催の歓迎会。そして1/18夜は町観光協会主催による歓迎会が行われました。観光協会主催の歓迎会では、風鎮太鼓や、日本舞踊、尾下の獅子舞など高森伝統文化も披露。また花火が冬の夜空に打ち上げられ、市長達はビックリ仰天、大感激していました。

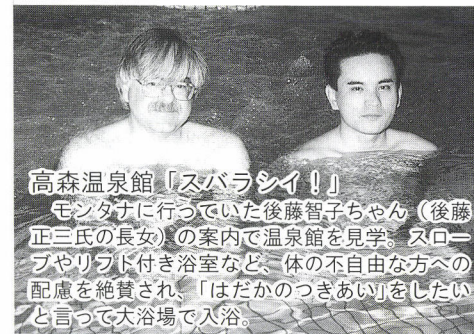
英会話が出来なくても身振り手振りで心を通じることが出来ます。まず何も心配せずに話しかけることです。



高森高校訪問（教育現場視察）

1/19午前10時、ブラスバンドの軽快な曲に迎えられて、高森高校（島田幹雄校長 生徒数332名）を訪問し、生徒会長瀬井公太郎君らと対談後、授業風景や施設を見学。

昨年夏にフラッドヘッド高校生5名が高森高校生宅にホームスティして、既に交流が続けられていますが、「今後益々交流を深めていくために、あなた達の若い力が重要です。」と姉妹校締結などに努力したいとの市長の話がありました。



高森温泉館「スバラシイ！」

モンタナに行っていた後藤智子ちゃん（後藤正三氏の長女）の案内で温泉館を見学。スロープやリフト付き浴室など、体の不自由な方への配慮を絶賛され、「はだかのつきあい」をしたいと言って大浴場に入浴。



四十四年ぶりに復活

大色見・戸狩の綱引き大会

一月十五日の日曜日 大字色見（しきみ）の戸狩（とがり）地区で四十四年ぶりに綱引きが復活しました。

これは豊作祈願を目的として、昭和二十六年頃まで、旧正月の十五日（小正月）に色見の他の地区でも行われていたもので、今年は同地区の青壮年グループ六地蔵会や婦人会などの皆さんが中心となり「むらおこし」と親睦の意味も含めて呼びかけたものです。

この日は朝早くから縄（綱）作りや餅つき、赤飯づくりをして、昼には約50m、直径20センチの大縄ができました。

その後約九十名が西（豊作）と東（不作）に別れ、太鼓の音に合わせて綱を引きました。子どもたちもお年寄りも一生懸命に綱を引きあい「世代間の交流や昔の風習を今に伝える伝承にもなります」と、参加された人たちは話されていました。

綱引きの勝敗は西（豊作）の勝ち。同地区はもちろん、町全体も豊作になることでしょう。

みんなのひろば

選手名簿

〈前半〉津留誠、森田あずさ、本多隆洋、佐伯顕毅、高本文昭、住吉昭則、吉良友美、石田貴之

〈後半〉工藤賢治、竹内辰三、古寺秀徳、佐藤秀一、野尻計介、山村裕史、野尻英樹

Sports スポーツ 大会結果

手で競われたものです。総合一位は蘇陽町で四時間六分十七秒。本町は四時間十分五十五秒の近差の惜敗でした。

第18回 阿蘇山一周駅伝大会
高森町チーム 前半で3位
後半1位の総合2位に輝く

十二月十八日、郡の陸上競技協会主催の阿蘇山一周駅伝大会で本町チームが見事に総合二位となりました。これは本町役場を出発して、立野方向に阿蘇体育館までの前半を八区、また同体育館から箱石峠を越えて本町役場まで七区に分けて、71.6kmを十五名の選手で競われたものです。

社会福祉協議会だより



「空き缶やタバコの投げ捨て」やめましょう

寒風吹きすさぶ、昨年12月21日の早朝、町内20の老人クラブの代表25名の方々が、国道325号バイパスのJ Aスタンド四つ角から四方に別れて、空き缶とゴミ集めをされました。

これは町老人クラブ連合会が行っている社会奉仕活動の一つで、相変わらずタバコや空き缶の投げ捨てが多いと話されていました。

ボランティア紹介

昨年10月1日から12月31日までの共同募金の実績は1,346,003円でした。町内の皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。期間中の11月26日に高森中学生徒会の皆さんが高森駅などで、街頭募金活動に協力いただきましたので紹介します。ありがとうございました。

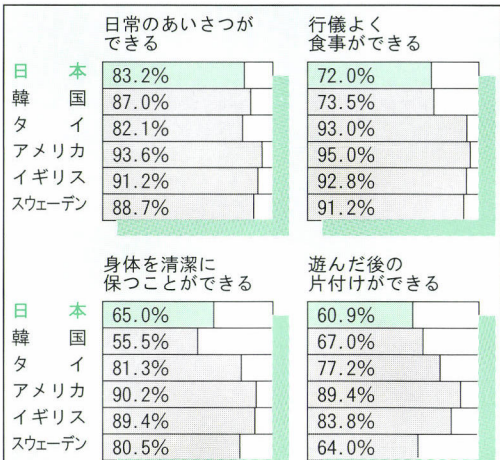


あなたの真心 活かします

	父 親	母 親	母 親 と 父親の差
日 本	3.32時間	7.44時間	4.12時間
韓 国	3.62時間	8.40時間	4.78時間
タ イ	6.00時間	8.06時間	2.06時間
アメリカ	4.88時間	7.57時間	2.69時間
イギリス	4.75時間	7.52時間	2.77時間
スウェーデン	3.64時間	6.49時間	2.85時間

子どもと一緒に過ごす時間

まず、この調査で浮き彫りになったのは、親と子どもとの接触時間の短さです。特に父親との接触が低い値となっています。



「甘いしつけ」

生活における基本的な行動、4項目について5歳のときに自分の子どもができたものを挙げてもらいました。全体的に日本では「一人でする」が少ない結果となっています。

	日 本	韓 国	タ イ	アメリカ	イギリス	スウェーデン
第1位	食事をする 91.8%	食事をする 89.1%	食事をする 88.3%	食事をする 93.1%	外出する 90.0%	食事をする 93.2%
第2位	話をする 84.3%	テレビを見る 87.0%	話をする 86.8%	外出する 91.1%	食事をする 89.9%	話をする 77.1%
第3位	テレビを見る 82.8%	話をする 80.0%	一緒に遊ぶ 82.4%	話をする 88.9%	話をする 89.8%	外出する 75.7%
第4位	外出する 77.1%	一緒に遊ぶ 76.7%	同じ部屋で寝る 71.5%	一緒に遊ぶ 84.7%	一緒に遊ぶ 86.8%	テレビを見る 72.4%
第5位	入浴させる 67.6%	外出する 75.3%	外出する 68.1%	テレビを見る 69.1%	テレビを見る 72.3%	一緒に遊ぶ 70.5%
第6位	一緒に遊ぶ 64.1%	入浴させる 62.9%	テレビを見る 67.9%	家事を教える 52.1%	着がえを手伝う 56.9%	着がえを手伝う 59.6%
第7位	同じ部屋で寝る 56.6%	勉強を教える 58.4%	着がえを手伝う 61.1%	着がえを手伝う 52.0%	勉強を教える 52.5%	見える所にいる 50.8%
第8位	見える所にいる 46.5%	同じ部屋で寝る 57.4%	入浴させる 50.0%	見える所にいる 50.0%	入浴させる 50.3%	入浴させる 48.6%
第9位	着がえを手伝う 39.4%	着がえを手伝う 56.1%	見える所にいる 38.8%	スポーツをする 49.0%	見える所にいる 44.0%	学校などの送り迎え 38.6%
第10位	勉強を教える 37.7%	見える所にいる 50.5%	家事を教える 37.0%	勉強を教える 48.8%	学校などの送り迎え 43.4%	勉強を教える 37.8%

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
未来のために

近年、核家族化や子供の数が少なくなってきたことと、女性の社会進出の増加などに伴い、家庭や家族を取り巻く環境が大きく変わってきています。このことにより、家庭内のしつけの変化や低下が心配されているところです。

このほど文部省では、諸外国との比較を通して、日本の家庭教育の特色などを明らかにしようと「家庭教育に関する国際化比較調査」が実施され、結果が公表されました。でお知らせします。



父親の子育て分担

「しつけをする」は欧米に比べて、アジア3カ国では半分程度にとどまっています。また「食事の世話をする」は各国とも甘さが目立ちます。

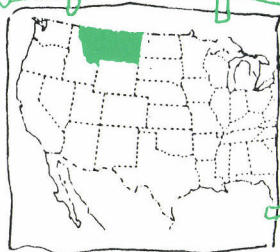
子育ての負担を減らす

乏しい接触内容

「子どもと一緒に何をするか」を十五項目の中から複数回答してもらったのが図3です。父親は生活を負担するだけで、悩み事や進路の相談相手になるなどの割合が低い事が分かります。また、平均回答項目数はアメリカが8・57項目と多様な行動を通して子どもに接しているのに対して、日本は6・7項目と最低で、接触内容の乏しさが伺えます。

複数回答

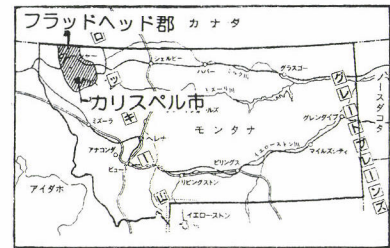
モンタナ州 State of Montana



モンタナ・カリスペル紹介

カリスペル市

モンタナ州北西部、フラッドヘッド郡（熊本県の約二倍の面積。人口六万五千人）の南部に位置する同市は、面積約四十一平方キロメートル、人口一万二千人で、同郡の政治、経済の中心地である。グレジャー国際空港も有り、空の玄関口として観光面でも栄えている。



講演会・パネルディスカッションから



平成7年1月18日（水）午後2時 林業総合センター

■ダグラス・ラッシー市長講演会

「カリスペルのまちづくり」講演要旨

私のまち、カリスペルには生活向上とその維持のために、自然保護や汚染防止、経済開発、観光誘致、公益事業の推進、教育と福祉など日本と同じように課題や様々な住民の要求があります。この15年の内にめざましい人口増加によって、住宅問題と土地価格高騰、失業問題など色々な問題も山積しています。

また自然や環境保護を主張する人。山林伐採をはじめとする開発を主張する人。その他色々な声があります。このため市の行政は、全ての意見を集約して目標（ゴール）を一つにするために努力しています。



平成7年1月19日（木）午後三時 南阿蘇国民休暇村セントラルロッジ

■キャロル・デリニー氏（フラッドヘッド郡経済開発公社代表）

「地域活性化と地場産業」講演要旨

私が関係しているのは、カリスペル市を含むフラッドヘッド郡全体です。この地区には様々な種類の産業があり、そのほとんどが中小、零細な企業です。その中で特に盛んな産業は林業（郡の経済の40%を占める）ですが、森林保護団体の山林伐採への反対があり、林業者が失業し、これらの人々が工業就労者へと移行して工業が発展し、公害問題が発生するという皮肉な現象もあります。また、外からこの地区に移住してくる人の多くは退職者で高齢者が多く、その人達のためにレクリエーション施設や文化施設が必要になってきました。地場産業の発展と自然保護の推進や工業化による公害（汚染）防止を同時に解決しなければならない難しい状況にあります。

「地場産業の発展が『まち』を活性化させる」 パネルディスカッション 要 旨

経済には世界的規模で景気の影響を受けるものと、それらの影響をほとんど受けない経済がある。これは「地場産業（経済）」と言われ、小さな経営規模でも向上心を持ち、他にない特色や技術を開発し、身につけることで需要（顧客）を引き寄せることができる。（田楽の町、高森の浸透がこの成功例。また町では、他の特産品開発や加工に取り組んでいる。）

「足腰」の強い地場産業発展には足元を見直し、埋もれた町の特色を掘り起こす精神を持つことが大切である。



1月22日 カリスペル市長一行帰国 再会を約束して涙の別れ 『私たちはサヨナラは言いません。すぐに又会えるから…… 皆さんの温かい心は忘れません。本当にありがとう』

1月15日から22日までの高森滞在中は、町内の色々な方の「親切と真心」に接することができて私たちはとっても幸せでした。

生活環境や素晴らしい自然、また経済発展やまちづくりのための考えと心など、共感するものを多く感じました。そして町の中を歩いているときも気軽に声をかけていただいたり、手を振っていただいたりと、感動を与えてくださいました。

私たちは帰ってから今回の訪問をあらゆる方法でみんなに紹介します。そして、今回の実際の体験を高森とカリスペルやフラッドヘッド郡との、人的、文化、産業、観光などすべての面で、更なる交流発展のために活かしていかなければなりません。

これからも環境保全や教育に力を入れられて、高森が益々発展されることを祈ります。皆さんのご親切に感謝します。本当にありがとうございました。



1月22日（日）午前9時 宿泊先の国民休暇村ロビーに市長一行の帰国を見送るたくさんの人々が詰めかけ、「涙の別れ」の光景があちらこちらで見られました。

今回の取材を通して市長たちと接する中で、優しい心と気遣いに感動を覚えました。国際交流はむずかしいことではありません。やはり「実際の体験と心のふれあい」から始まると確信しました。また今回通訳として協力いただいたフレイザー・上田美子さんはすべてのところで細やかな配慮をいただいたことを特筆したいと思います。

その後、講演会やパネルディスカッションの内容打ち合わせや様々な連絡など、その事務内容は複雑多岐にわたった。一番問題であったのは、高森や日本の伝統、文化、日常生活をほとんど知らない彼ら（市長夫妻は最初の訪日。キャロル氏は七年ぶり）に対して、どのようにわかりやすく説明

カリスペル市長一行の高森訪問準備のため、クリスマスと正月を目前にした十二月、カリスペルの事務所にはにわかに慌ただしくなっていた。今回の訪問の目的は現在の国際交流事業を、より優れたものにするために市長たちと町住民が直接交流し、情報交換を行い、相互の地域発展と活性化を図ることは大変有意義なことであると思う。

高森訪問決定後の市長談話では「大きな期待と小さな不安、そして昨年六月のジャパンウィークでここを訪れた人たちの再会が楽しみ」ということであった。

一月十四日午前六時。市長一行を乗せた飛行機がグレイシャー・パーク国際空港を離陸。日本へと旅立つて行った。

そして、市長たちは茶道の心得、箸使い、正座、あいさつなどの簡単な日本語も繰り返し練習し、日本経済や都会の情報も伝わっても、生活習慣など、市民レベル的な情報を得ることは難しい中で、新しい日本の情報を収集したりと、その意気込みが感じられたのはうれしいことであった。彼らが何を体験し、何を感

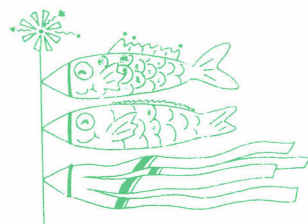
する。また、アメリカと日本の生活習慣の違いなどを理解してもらえらるであろうか。ということであった。

『鯉のぼり』をカリスペルの空に泳がせてみませんか？

カリスペル市長一行の今回の訪町行事にともない、カリスペルに高森をさらに強くアピールし、町の産業、経済、観光、文化、教育などの交流を促進させるために、「カリスペルの空に鯉のぼりを！」（仮題）を企画しました。みなさんのお宅に眠っている「鯉のぼり」を提供してください。（写真を贈呈）

■ 鯉のぼりに子どもさんや家族の名前、メッセージなど何でも、大きく書いてお届け下さい。

■ 問い合わせ・受付 高森町教育委員会 ☎2-1111



町の安全守ります 町消防団出初め式



高森中学校 少年消防隊32名の皆さん
「僕たちも防火の大切さを考え、町を守ります」と頼もしく語ってくれました。



12月30日 年末警戒中の第7分団1部（森・冬野）町長、団長、広域消防から激励の言葉を受ける

年明けの一月十日の火曜日、高森小学校で平成七年度の町消防団出初め式が開催されました。この日は三百三十三名が参加し、塚本団長の統率のもと、一糸乱れぬ規律で消防車パレードと通常点検（競技）が行われ、また、「別所の堤」で一斉放水と消防団活動に功績があった四十七名の方の表彰もありました。これより前の昨年十二月二十八日から三十日まで、町内の十四の各分団では年末警戒が実施され、年末の忙しい中に防火の呼びかけと警戒にあたりました。「町民の生命と財産」を守る消防団活動。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

通常点検審査結果

一位 第九分団（色見）二位 第十分団（大字津留）三位 第七分団（津留・南佐）

『パークボランティア』ってなあに？

あなたの優しさ 自然保護に活かしてみませんか？

パークボランティア募集中

緑の木々がいっぱいの日本。四季折々の彩りで、私たちを楽しませてくれる山々。何十年も何百年も前から、私たちに恵みを与え続けてくれている大自然。この雄大な自然を…木々を…山々を…生き物たちを守り育てながら、未来に残していかなければなりません。

近年、地球規模での無秩序な開発と世界中の地域間競争。そして私たち人間の生活排水などの色々な問題。ぜいたくで便利な生活の「つけ」が最終的に地球の温暖化やオゾン層の減少など環境の破壊につながり、ジワジワと住みにくい星になってきています。環境庁自然保護局ではこうした自然破壊の防止と、自然保護の認識を多くの人に分かってもらおうと、色々な取り組みをしています。その一つに自然に対する深い見識と技術を有し、自然保護活動に協力いただける方「パークボランティア」の募集事業があります。このパークボランティアになるための研修会が、次のとおり本町の国民休暇村で開催されます。これを機会に、あなたの力と優しさを、自然保護に活かしてみませんか。

●定員 20名（応募者多数の場合は抽選）
●締切 2月15日（水）必着の事
●期日 2月25日（土）～26日（日）
●場所 南阿蘇国民休暇村
●費用 研修費は無料。ただし、一泊三食七千円の宿泊費と交通費等は自己負担

◎申込みと詳しい内容の問い合わせは、ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、所属団体、自然観察指導経験の有無を明記して：
〒869-122 阿蘇郡阿蘇町黒川1180 環境庁自然保護局九州地区国立公園 野生生物事務所までどうぞ。
☎0967-340254

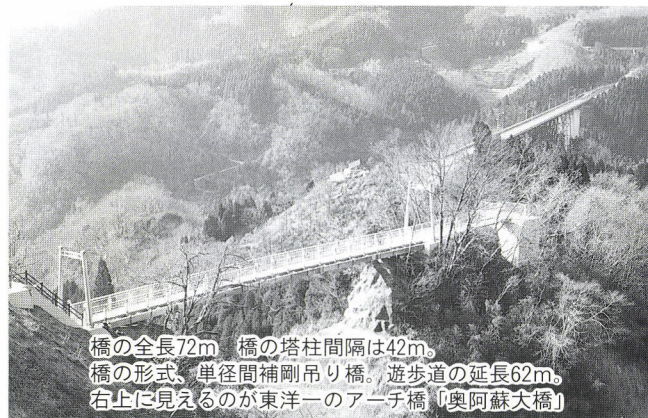
奥阿蘇吊り橋 完成

遊歩道も整備され、奥阿蘇大橋まで気軽に散歩

本誌10月号でお知らせした奥阿蘇吊り橋と同遊歩道がこのほど完成し、1月17日の午前10時半から渡り初め式が行われました。これは山村振興対策事業により、総事業費約5,120万円をかけて完成したもので、この吊り橋が完成したことにより、昨年オープンした、奥阿蘇キャンプ場から奥阿蘇大橋(全長360m、橋の高さ120mのアーチ橋では東洋一)に歩いて行くのに大変便利になります。奥阿蘇物産館を含めて草部だけでなく、町全体の観光面での活性化が期待されます。



神事の後、出席者全員で渡り初め。高森訪問中のカリスベル市長一行も渡り初めに参加し、花を添えていただきました。



橋の全長72m 橋の塔柱間隔は42m。橋の形式、単径間補剛吊り橋。遊歩道の延長62m。右上に見えるのが東洋一のアーチ橋「奥阿蘇大橋」。

農作物輸入自由化や市場価格の低迷などによる農家の働き手不足など、農業には様々な問題があります。世界的に眺めても、世界の農業地帯と言われる中国や東南アジアの工業化による「農業はなれ」など、これから益々増える地球人口の食生活を賄う上からも、私たちの生活に欠かす事の出来ない農業の衰退が心配されるどころです。こうした世界的傾向とあいまってわが国の農業問題の解決のために、町では新しい色々な施策を展開しています。



12月7日 高森高校で開催されたパソコン教室。これは経営管理の基本を学ぶことを目的とした農業簿記講座として行われたもの。若い農業後継者の意欲が感じられる。

その内容は……
①パソコン導入などによる経営分析や数値データの活用した農業簿記の普及。②労働力不足対策のための、農地の集約化や機械化農業推進への模索。③農業経営基盤強化促進法に基づく認定農家への支援。④農業の原点である、土づくりを見直すための畜産由来肥料や自然に優しいEM(有効微生物群)の活用などによる環境保全型の自然農法への取り組みなどです。それぞれの内容はあらためて詳しく紹介します。



農業労働力不足解消のための一つの方策に機械化農業の推進があげられる。



12月10日に開催されたEM農法講演会の様子。無農薬、有機農業を取り入れた採算性の高い農業への関心が高いことがうかがえた。

土づくり、機械化、パソコン導入など、農業経営の確立をめざして

農業の新しい取り組みいろいろ



1月23日 10万人目の入館者となった高千穂の甲斐文子さんとお母さんのスマさん。

昨年11月10日にオープンした高森温泉館が、1月23日に、10万人目のお客様を迎えました。

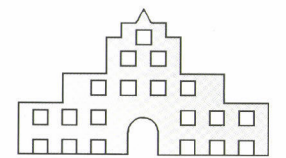
これは、オープンしてから71日目、平均すると一日1400名以上のお客様があったことになり、ペースが上がってきています。10万人目のお客様は高千穂の甲斐文子様ご一家でした。これを記念して、温泉館から花束と町特産品を贈呈し、「今日が二回目です。身体の不自由な人のためにも色々な設備があり、安心してゆっくり入れます。」との感想をいただきました。

「益々引き締めて、お客様に喜んでいただけるよう頑張りたい」とスタッフは話していました。

高森温泉館

入館者
10万人突破

第1回町議会臨時会



議会だより



ダグラス・ラッスイー市長は、「高森に来ることができて大変光栄に思っています。今後も、教育や文化、観光、産業などあらゆる面での交流に努めたい」とあいさつ。左上是通訳のフレイザー、上田美子さん。

農業委員の定数に関する条例の制定など四議案を可決

可決されたもの

■阿蘇広域行政事務組合規約の一部改正について

平成七年第一回の町議会臨時会が一月十七日開会され、四議案が慎重審議の上、可決されました。また、この日はカリスベル市長ダグラス・ラッスイー氏と同氏夫人そして、フラッドヘッド郡経済開発公社代表のキャロル・デリーイー氏が町議会を表敬訪問。議会を傍聴の後、議場でダグラス市長らのあいさつがありました。

■町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例制定について

今まで高森色見と草部そして野尻の三つに選挙区が分けられていたものが、町内の農家戸数や農地面積が減少したため高森町全体を一つの選挙区とすることになりました。

の収集、運搬及び処分に関する事務」そして「浄化槽清掃業の許可に関する事務」が、付け加えられたものです。

■町道の起点変更について

町道大戸の口・本河原線の道路改良工事のため、同町道の起点を変更することになりました。

熊本県選挙管理委員会広報

ちょっとためになる

選挙豆知識

シリーズ4

Q 候補者になるためには、どのような資格が必要ですか
A 候補者となるためには、積極的な活動が必要で、その活動が一定の水準にあることが必要です。(被選挙権)
①日本国民であること
②投票日現在で年齢満二十五歳以上であること
③地方公共団体の議員に就任した日から満一年以上経過していること
④市町村の区域に在住していること
⑤市町村の長官に就任していること
⑥市町村の長官に就任していること
⑦市町村の長官に就任していること
⑧市町村の長官に就任していること
⑨市町村の長官に就任していること
⑩市町村の長官に就任していること